

令和2年4月吉日

公益社団法人 物理オリンピック日本委員会

理事長 長谷川 修司

拝啓 春爛漫の季節を迎えましたが、今年は新型コロナウイルス禍の広がりのため桜を楽しむこともできませんが、皆様におかれましては益々清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から当法人の活動にご支援いただき心より御礼申し上げます。

当法人は、2011年4月から特定非営利活動法人（NPO法人）として物理チャレンジ・物理オリンピック事業を展開して参りましたが、昨年7月に一般社団法人を設立し、内閣府に公益認定の申請をしていたところ本年3月に認定され、2020年4月1日より公益社団法人として活動を継続することになりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と御礼申し上げます。公益社団法人として、ますます広く社会からのご支援を受けながら、物理チャレンジ・物理オリンピック事業を充実させていく所存でありますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人化を機に、専門性、社会性、国際性の三つの観点から、当法人の活動の更なる拡充を進めて参りたいと考えています。

毎年、各国持ち回りで開催される国際物理オリンピックに日本代表選手団を派遣することを最終目標に、全国物理コンテスト「物理チャレンジ」を毎年開催しています。その活動によって最優秀層の中高生が育つだけでなく、物理に興味を持つ中高生のすそ野の広がりも拡大しています。当法人は、中等教育と高等教育とを接続する独自の立ち位置にあります。今後、物理教育・研究に関する専門性の高い当法人の人的リソースを活かし、中学、高校、大学といった日本の教育の枠組みにとらわれずに、物理に興味をもつ青少年の背中を後押しする仕組みを拡充して参りたいと考えています。

近年、ありがたいことに当法人の主旨に賛同してご支援くださる企業や団体が増えつつあり、公益法人化によって、個人の皆様も含めてますますその輪が広がることを期待しています。次世代を担う人材の育成こそが、日本の学術界だけでなく産業界の持続可能な成長戦略の出発点であることは論を俟たないところです。ますます社会のさまざまなセクターからのご支援が得られるよう、社会への更なる情報発信に努めて参ります。

2022年に国際物理オリンピックが日本で開催される予定で、一般社団法人国際物理オリンピック2022協会が中心になって準備が進められています。当法人としましても、日本代表選手役員団を送り込むだけでなく、他国開催の国際物理オリンピックへの長年の出場経験を生かして運営等に協力させていただきます。また、来年度より、アジア物理オリンピックにも日本代表選手役員団を派遣する予定です。そうすると10年も待たずにアジア大会の開催要請が日本に来ることは必至です。2022年以降の国際大会とアジア大会も含めて長期的な計画をもって、アジアや世界でのプレゼンスを示すべく、組織や財政基盤、国際交流の拡充を進めて参りたいと考えています。

末筆ではございますが、皆様のますますのご健勝とご発展をお祈りするとともに、当法人への旧来に勝るご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具